

貞奴と呼ばれた女

成澤布美子ひとり芝居

脚本 成澤布美子

演出 ふじたあさや

二〇二〇年一月十一日 土曜日

十一時～ 十五時～ (二回公演)

料金 三千円 (全席自由席)

嵐をさまよい、
嵐をしのぎ、
嵐に寄り添った女、
その真実の物語

川崎市アートセンター

アルテリオ小劇場

照明 坂本義美

音響 山北史郎

舞台美術・監督 野口岳大

所作指導 坂東富起子

人形製作 本川東洋子
(人形劇団ひとみ座)

衣装 藤野笛羽

ヘアメイク chihho

宣伝美術 からむしざわともみ
(tumugudesign)

広報 かめおかゆみこ

制作 成澤布美子、宮本緑

貞奴と呼ばれた女

「日本の近代女優第一号」「児童演劇の祖」と呼ばれた貞奴（さだやっこ）。7歳の時、生家の没落により、芸妓置屋に引き取られた貞は、のちに総理大臣伊藤博文に水揚げされ、日本一の芸者と謳われる。14歳の時、初恋の人、岩崎桃介（後に福沢諭吉の娘婿となり、福沢桃介に改名）と出会うが、桃介の結婚で初恋は終わる。23歳で、「オッペケ節」で一躍人気の壮士芝居の川上音二郎と出逢う。歌や芝居で政治批判を堂々とやってのける音二郎に惚れ込んだ貞は、音二郎と結婚。音二郎は伊藤の勧めで海外視察に行き、「日本に新しい演劇を！」と川上一座を立ち上げるが、場当たりの改革に世間からは非難を浴びる。紆余曲折のうちに旅立ったアメリカやヨーロッパで、貞は音二郎に懇願されて女優になり、以後「貞奴」と名乗るようになる。その川上一座の海外公演は大絶賛。ピカソ、ロダンなどの称賛を浴びる。意気揚々と凱旋した一座だが、そこから真の苦難の始まりであった。男尊女卑の強かった日本では、貞奴の活躍を疎む者も多かった。さらに音二郎が病没し――貞奴の運命は如何に……。

日時

2020年1月11日（土） 11:00 開演（10:30 開場）／ 15:00 開演（14:30 開場）

料金

3,000 円

※全席自由席
※未就学児童は入場不可です

チケット取扱い

川崎市アートセンター

9:00 ～ 19:30（原則毎月第二月曜除く）

※劇場窓口で直接お買い求めください
※チケットを当日忘れずにご持参ください

CoRich 舞台芸術！

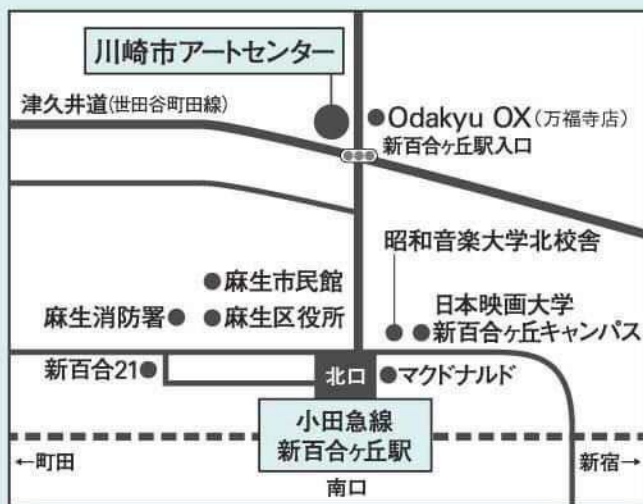
<https://ticket.corich.jp/apply/103423/>

※当日精算後にチケットをお渡しします



あらら企画（お問合せ担当：宮本）
miyamido111@yahoo.co.jp

※車椅子席のご用意があります（4席・事前予約制）
ご希望される方は「あらら企画」までお申し付けください。



会場

川崎市アートセンター アルテリオ小劇場

川崎市麻生区万福寺6-7-1

<http://kawasaki-ac.jp/th/>

100名さまご招待 クラウドファンディング実施！！

企画詳細・
公演情報を
ブログで更新



貞奴は生涯、子どもへの愛情、差別・偏見への反骨心、終活への潔さを持つていた人でした。「あらら企画」は、その志に共感し、学生・身障者・高齢者の方、百名様をご招待させていただきます！クラウドファンディングを企画しました！詳細・経過は、ブログをご覧ください。

成澤 布美子 なりさわふみこ

NHK-FM「歌謡スクランブル」DJ&構成など、フリーアナウンサー・放送作家を経て、子育て中に人形劇と出逢い、市民劇団「劇団わが町」で劇作家・演出家のふじたあさや氏と出会い師事。現在は司会者・役者・表現ワークショップ講師・脚本・演出・ライターなど、表現活動は多岐に渡る。あらら企画・「心に星を」市民プロジェクト代表。日本児童青少年演劇協会協会員。日本演劇教育連盟会員。教育支援人材認証協会「こども支援士」

